

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--------------------------------------------------|
| 事業名 | 池田つむぐプロジェクト |
| 事業主体 (連絡先) | 池田つむぐプロジェクトチーム (Mail: ikeda.tumugu@gmail.com) |
| 事業区分 | 8 その他の地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 643,203 円 (うち支援金:514,000 円) |

事業内容

2019年度は昨年度に引き続き、池田町の現状調査を通して把握しながら、フリーペーパーへの寄稿やSNSでの情報発信、学生と住民主体のイベント、池田町役場職員とプロジェクト参加学生による意見交換会等、つむぐPJの活動や池田町のことを幅広く知ってもらえるような具体的な活動に取り組んだ。3つのテーマ(子育て、空き家、広津地区)ごとにも課題と解決策を考え来年度の実施項目を策定した。

- ・3回のプロジェクト合宿の実施
- ・池田未来会議の実施
- ・各グループ主体のイベントの実施
(空き家グループ1回、広津グループ2回)

事業効果

①本年度から新しく10名のプロジェクト参加者が加入し、来年度以降も継続的に加入者を募る見込みをつけることができた。

②3回の合宿の中では池田町役場の職員の方々との意見交換会も実施し、各グループの取り組みに対して行政がどのように関わることが可能なかのすり合わせを行うきっかけとなり、今後も継続的に関わりをもつことができてきている。

③池田未来会議には総勢75名が参加し、町内の方々の意見を聞くことができかつ、中学校との連携も生まれつつある

今後の取り組み

今後はまず、行政の方々との関りをもっと増やしていき、具体的な連携を図っていきたいと考えている。最初はイベントベースで始めていきたい。

また今年度に立てた施策を実施し、具体的な活動の成果をあげていく。

本活動の現状の最大の成果は池田町に大学生が来るきっかけを作り、彼らにとって池田町がなじみの深い町となったことである。そこで3年目ではその成果の最大化を図るため、池田つむぐプロジェクト参加者の以外の大学生も池田町に来る機会として学生コンペティションを開き、地域に興味のある学生が池田町について深く考え、結果としてより多くの活動的な学生が池田町との接点を持てるようにすることも実施していく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【6月合宿集合写真】

【目標・ねらい】

- ①行政・地域住民と大学生が協働で池田町の地域課題を解決する。
- ②3年計画で実現可能な地域課題解決案を実施する。

※自己評価【B】

【理由】

- ・計画通りに事業を実施できた。
- ・各グループの主体性と能動性が昨年度以上に高まった。
- ・具体的なアクションにつながる機会が少なかった。